

●講演

2月16日(金) 15:10~16:10 大学講堂

「創造性を育むこれからの教師像：ファシリテーターから『ジェネレーター』へ」

井庭 崇 先生(慶応義塾大学教授)

講師紹介：専門は創造実践学、創造哲学、未来社会学。社会におけるさまざまな領域の実践をより創造的なものにするため、各領域の創造実践の本質をパターン・ランゲージとして表現して活用する。著書に『パターン・ランゲージ：創造的な未来をつくるための言語』(慶応大学出版会 2013)『クリエイティブ・ラーニング：創造社会の学びと教育』(慶応大学出版会 2019)『社会システム理論：不透明な社会を捉える知の技法』(慶応大学出版会 2011)ほか多数。

●参加費 3,300円 学生 2,200円 (資料代、電子決済料を含む)

●申込方法 右のQRコードから、申込サイト(peatix)へ移動できます。

もしくは、本校HPをご覧ください。

※切は2月12日(月)です。

当日受付はできません。予めご了承ください



●お願い

- 当日は、申し込みサイト(Peatix)にて発行される入場QRコードが受付時に必要になります。プリントアウトしてお持ち頂くか、電子端末等でQRコードが提示できるようにしてください。
- 身分証明書の提示をお願いすることがあります。確認できるものをお持ちください。
- 大学構内・校舎内でのビデオ撮影・写真撮影、録音はご遠慮願います。
- 靴カバーは用意しておりますが、環境への配慮から、上履き・上履き袋をご持参ください。
- 弁当販売は、当日販売のみ行います。数に限りがありますので、売切の際はご容赦ください。なお、大学周辺にも飲食店・コンビニエンスストア等がございます。
- 災害・感染症拡大等緊急の場合、研究会を中止することがあります。その場合のお知らせは本校ホームページで行いますので、そちらで確認をお願い致します。
- 学級閉鎖等の場合は、公開内容に変更があります。その際は、当日掲示にてお知らせします。

●会場案内・アクセス

- 東京メトロ丸ノ内線【茗荷谷駅】より徒歩7分
 - 東京メトロ有楽町線【護国寺駅】より徒歩15分
 - JR山手線【大塚駅(南口)】より都営バス都02系統【大塚二丁目】下車徒歩1分
- ※都02系統は「錦糸町駅」「大塚二丁目」「東京ドームシティ」行きです。
- ※本校に駐車場はありませんので、車での来校はご遠慮ください。



●ご案内

- 本校では、長期研修を受け入れております。また、校内研究会・講演等についてのご相談も承っております。ご希望の方は、本校に直接ご連絡ください。

文部科学省研究開発学校指定(4年次)

お茶の水女子大学附属小学校

第86回 教育実際指導研究会【対面開催】(第2次ご案内)

学びをあむ

—新領域『てつがく創造活動』を中核とする教育課程の開発—



■主催	お茶の水女子大学附属小学校 NPO法人お茶の水児童教育研究会			
■期日	2024年2月16日(金)・17日(土)			
■会場	お茶の水女子大学附属小学校 〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 TEL 03-5978-5875 FAX 03-5978-5872 ホームページアドレス http://www.fz.ocha.ac.jp/fs/			
■公開授業	国語	社会	算数	理科
	音楽	図画工作	家庭	体育
	外国語	食育	みがく	てつがく創造活動

ごあいさつ

本校では、民主主義社会を担う市民の育成を目指し、子ども一人ひとりが自ら主体的に学ぶための学習のあり方を、個の尊重と協働の視点から探究し続けています。

社会に目を向けると、技術革新による人工知能の飛躍的な進化やグローバル化の進展により、子どもたちのこれからの取り巻く環境は、大きく変化することが予想されます。

そこで、社会の変化と主体的に向き合う市民を育成するため、自分の思いを大切に、様々なひと・もの・こととかわりながら新たなものを創り出し、自己を更新していくことができるようになってほしいとの願いから、2019年度より研究テーマを「学びをあむ」としました。そして、一人ひとりの思いや願いが尊重され、興味・関心や疑問を出発点に主体的に学びを進める「てつがく創造活動」を中核とし研究を進めています。この学びを支える資質・能力にも着目し「メタ認知スキル」や「社会情意的スキル」を育成する教育課程の開発を行ってきました。これは、文部科学省研究開発学校の指定を受けており、本年度がその最終年度となります。

ここ3年間はオンラインによる公開でしたが、本年度は対面開催を予定しております。日頃の研究成果を多くの先生方にご覧いただき、さまざまなお立場からご意見・ご助言をいただきたいと思っております。ご多用のこととは存じますが、ご参会いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

お茶の水女子大学附属小学校校長
NPO法人お茶の水児童教育研究会代表 小松 祐子

公開学習指導 16日(金)

8:30	9:00	9:40	10:00	10:40	11:00	11:45	13:00	13:15	14:45	15:10	16:10
受付	学習指導 I		学習指導 II		学習指導 I II 話し合い		全体発表	課題別協議会		講演	
食育部会協議会											

学習指導 I 9:00-9:40				
年	教科等	題材・単元名	授業者	話合
1	みがく	ききあおう	神谷 潤	
2	食育	食をみつめて	足立 愛美	○
3	国語	思いを聴き合おう	佐久山 有美	○
3	てつがく創造活動	自分の生活や学びを見つめて	久下谷 明	
4	算数	大きさをくらべ	富田 京子	○
6	理科	生物と環境	草野 健	○
6	てつがく創造活動	ふり返って考える	倉次 麻衣	
6	てつがく創造活動	ともに考える	和氣 拓巳	

学習指導 II 10:00-10:40				
年	教科等	題材・単元名	授業者	話合
1	みがく	やってみる	小沼 律子	○
2	みがく	思いに近づく	下田 愛佳里	○
3	体育(保健)	自分の強みを見つけよう	江部 紀美子	○
4	てつがく創造活動	立ち止まって考えよう	神崎 芳明 富田 京子 前原 文江 山賀 愛陽也 有働	
5	てつがく創造活動	自分たちでつくりだすプロジェクト活動	岡田 紘子 片山 元裕 築地 晶子 町田 直樹 本田 祐吾	
6	国語	わたしにとっての意味	岡田 博元	○

*「話合」に○がついている授業は、授業後に話し合いをもちます。

部会	協議会の概要	課題別部会共同研究者	
食育部会協議会 10:00~11:45			
食育	食をみつめる 自分をみつめる	本学 赤松 利恵	調布市深大寺小学校 濱松 章洋
課題別協議会 13:15~14:45			
新領域「てつがく創造活動」構想部会	これまで、子どもの興味・関心を大切に主体的な活動のあり方を「リゾーム的な学び」と定義づけて研究を進めてきた。そこでの子どもの活動を意味づける存在としての他者のあり方、教師のあり方について、参会者とともに考えたい。	東京大学 小玉 重夫	上智大学 奈須 正裕
新領域「てつがく創造活動」評価部会	子ども自身が評価者となる「学びとしての評価」では、“てつがくする”ことを通して、友だちや教師とかかわりながら自らをふり返り、次の学びをつくりだす。本研究では、子どもが自覚的に評価活動を行う姿を目指す。	本学 富士原紀絵	立教大学 河野 哲也
低学年部会	今年度は低学年のプロジェクト型活動における「関わり」を視点を研究を重ねてきた。教師の記述(実践記録)を読み合い、教師自身がメタ的に捉え直したことにより見えてきた子どもの姿や教師の関わり、プロジェクト型活動などについて対話したい。	本学 浜口 順子	白梅学園大学 無藤 隆
中学年「てつがく創造活動」部会	低学年での経験をもとにしながら、一人ひとりの“やってみよう”、“考えてみたい”という思いをもとに活動をつくってきた。プロジェクト型活動とてつがくを通して主体的に探究していく子どもの姿と、ともに歩む教師の役割について考えたい。	本学 武藤 世良	埼玉大学 岩川 直樹
高学年「てつがく創造活動」部会	子どもたち同士、そして、子どもと教師の対話から学びをつくることを改めて意識した。高学年の子どもたちが、自分と他者を意識することができるような環境設定や活動の広がりや高まりを促す教師のかかわりについて話し合いたい。	本学 池田 全之	甲南女子大学 村川 雅弘

公開学習指導 17日(土)

8:30	9:00	9:40	10:00	10:40	11:00	11:45	13:00	13:15	15:00
受付	学習指導 III		学習指導 IV		学習指導 III IV 話し合い		全体発表	教科別協議会	
外国語部会協議会									

学習指導 III 9:00-9:40				
年	教科等	題材・単元名	授業者	話合
1	国語	くらべてよんで "なるほど なっとく"	大村 幸子	○
2	みがく	音けんきゅうじょ	杉野 さち子	○
3	算数	分数	久下谷 明	○
4	体育	自分で決めた「テーマ」で遊ぶ	神崎 芳明	○
5	算数	割合	岡田 紘子	○
5	社会	リニア中央新幹線について考える	片山 元裕	○
6	外国語	I Have a Dream	濱 雪乃	○

学習指導 IV 10:00-10:40				
年	教科等	題材・単元名	授業者	話合
2	みがく	生活の中の対立について考えよう	岩坂 尚史	○
3	理科	磁石の性質	比樂 憲一	○
5	音楽	Music Map	町田 直樹	○
5	家庭	こだわりご飯	築地 晶子	○
5	国語	ちがうことばで表すと	本田 祐吾	○
6	算数	データの活用	倉次 麻衣	○
6	図画工作	からだで感じて	堀井 武彦	○
6	体育	わたしたちの体育	和氣 拓巳	○

*「話合」に○がついている授業は、授業後に話し合いをもちます。

部会	部会のテーマ	共同研究者	コメンテーター
外国語部会協議会 10:00~11:45			
外国語	“世界”とつながる「ことば」の学び(2年次)	本学 小松 祐子	聖徳大学 金 瑠淑
教科別協議会 13:15~15:00			
国語	子どもの“今”からつくることばの学習 —< 感度 > を生かして学びを重ねる—	本学 橋本 陽介	東京大学 藤江 康彦
社会	生活社会を問い直す	本学 大脇 和志	立正大学 石橋 昌雄
算数	「自分事」の算数における 数学的コミュニケーション(3年次)	本学 吉田 裕亮	東京学芸大学 中村 光一
理科	探究する空間(4年次)	本学 里 浩彰	早稲田大学 佐藤 寛之
音楽	やる音楽	本学 小坂 圭太	千葉大学 本多 佐保美
図画工作	アートメタ認知	本学 刑部 育子	東京家政学院大学 立川 泰史
家庭	生活の探究~暮らしを豊かにすること~	本学 西村 純子	横浜国立大学 杉山 久仁子
体育	学校で体育をすることの意味	本学 水村 真由美	宇都宮大学 石塚 諭